

Y I A 会員だより 2006年8月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部 (Tel : 42-4114、Fax : 42-4499)
ホームページ URL : <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>

【8・9月の活動計画】

	月日(曜日)	時間	会場および問合せ先	行事名および内容	備考	担当
定例事業	8月27日(日)	18:30~19:30	文化研修センター	定例理事会		事務局
	毎週木曜日	19:00~21:00	文化研修センター	英会話教室 講師：ウイリー・エリックさん	*1	
	毎週日曜日	10:30~12:30	阿波教室	日本語教室 出張支援 手塚さん		支援部
		14:00~16:00	石井教室	日本語教室 講師：手塚功先生		
		19:00~21:00	上板教室	サポーター：住友初美さん		
	毎週日曜日	13:00~15:00	文化研修センター	日本語教室 講師：村上瑛一先生		
	毎週金曜日	19:00~21:00	文化研修センター	日本語教室 講師：市原さん、谷本さん		
8月27日(日)	19:00~21:00	治作マンション	英会話フリートーク：アン・中村さん		交流部	
企画事業	7月29日(土)~	13:30~15:00	鴨島公民館	中国語講座 出張支援 手塚功先生	*2	支援部
	適宜		任意	訪問インタビュー		
	8月2日(水)	14:00~	徳島空港	新ALTOお迎え(YIA・教育委員会)		交流部
	8月15日(火)	16:30~21:00	鴨島駅前中央通り	阿波踊り(文化研修センター集合)	*3	
	9月9日(土)	19:00~21:00	多喜味レストラン	新ALTO歓迎会(交流部長：後藤田まで)		
	10月(予定)			国際理解講座(ラオス or マレーシア)		

1	2	3
英会話にチャレンジしませんか？ 9月7日から新しく吉野川市にいられたウイリー・エリックさん(Wylie Elic:アメリカ/ユタ州出身)による英会話教室が始まります。皆さんと一緒に、英会話にチャレンジしませんか？お気軽にご参加ください。 授業日：毎週木曜日 19:00~21:00 場所：文化研修センター2F 問合せ先：吉野川市教育委員会 0883-42-4115 YIA 理事:後藤田溜美子 0883-24-5234	お知らせ 7月29日から8月19日まで、中国人研修生による中国語講座が、中学生を対象に開かれます。毎週土曜日、全4回終了です。場所は鴨島公民館です。岡田館長から企画のご提案があり、手塚さんが出張支援します。(講師 早川さん)	阿波踊り「国際交流連」 毎週日曜日 19:00~鴨島公民館前、きらく連さん(松島連長)に鳴り物と踊りの指導をYIAからお願いしています。自由参加。 「国際交流連」 日時:8月15日(火)19:00~21:00 集合:17:00 文化研修センター 日程:17:00~18:00 練習 18:00~18:45 夕食 19:00~21:00 阿波踊り 参加費:外国人&日本人 500円 ハッピー・たび・はちまき・帯はお貸しします。申込締切:8月8日

【7月の活動報告】

第1回国際理解講座「カンボジアってどんな国？」
 日時：7月22日(土)13:30~15:00
 講師：ニョー・ヘンさん(徳島大学工学部大学院生)
 参加者：22名(高校生9名、一般13名)
 内容は裏面をご覧ください。

第3回理事会
 日時：7月22日(土)15:30~17:00
 場所：文化研修センター
 参加者：7名(ヘルミニアさん参加)
 内容：7月の活動報告、8~9月の活動について(阿波踊り、新ALTOの歓迎、日本語教室など)

日本語教室からお知らせ

阿波教室

長年続けて参りました川島教室は7月28日(金)をもって閉じるになりました。

なぜならば、私の教育委員会への再三の無料申請の願いもご理解を得られず、残念でなりません。同じ者が同じ目的で市の施設をお借りするのに、一方では使用料が要り、一方では要らないというのは、どうしても納得できず歯痒いばかりですので、私の主旨をご理解いただける所が変わって今後も続けて参ります。すでに7月23日から始めています。

(支援部長 手塚 功)

鴨島教室

毎週金曜に文化研修センターで行なわれている鴨島教室の8月の授業日程、および授業内容です。

月 日	内 容	主な担当者
8月4日	読解	市原
11日	日本語検定受験準備	谷本
18日	作文・文法 形容詞 2	市原
25日	日本語検定受験準備	谷本

ひき続き、日本語教室で勉強される方のための図書を集めています。絵本や、小学生用の楽しい本、漢字にルビが振ってあるもの、お話のCDなどを寄付していただける方は文化研修センター事務室までお届けください。

訪問インタビュー

今回は中国の青島から農業研修に来ている吉野川市在住の王 暁雲さん、邵 傳燕のお二人にインタビューして参りました。

王さんは2004年12月、邵さんは2005年9月に来られました。特に王さんは、中国で6ヶ月日本語の勉強をしていただいただけに大変きれいな日本語で話してくれました。邵さんはまだ少し難しそうでした。お二人とも日本料理は何でも食べられるし、特に寿司と刺身は大好きで、お餅、カレー等も大変好きだそうです。

徳島に来てから、去る6月に富士山へ2泊3日で社長さんが連れて行ってくれたと嬉しそうに話してくれました。恵まれた環境のもとで研修されているようで、私達も大変嬉しく思いました。Y I Aについてもいろいろと説明させてもらいましたが、社長さんをはじめ、ご家族の方も国際交流協会が有るのさえ知らなかったので、我々の活動を詳しく説明いたしました。特に阿波踊りは関心が高く、参加してくれるものと思います。また日本語教室もお二人の心を動かすことができました。

日本で今一番欲しいものは、お二人ともカメラが欲しいとのことのお答えでした。カラオケも好きだそうです。「北国の春」を唄ってくれました。休みは買い物に行くのが楽しみであり、研修が終わって帰ると、お二人とも結婚するそうです。

インタビューしている時も、いつも楽しそうで、

いい感じでお話が聞けた事に感謝いたします。また訪問を快くお受けいただいたことに厚く御礼申し上げます。

(インタビュアー：支援部 手塚功
片岡典子)

第1回国際理解講座の報告

「カンボジアってどんな国？」

かつてカンボジアは、世界でもっとも豊かな農業国の一つと言われ、「インドシナの平和のオアシス」と呼ばれていました。しかし、1975年～1978年のポル・ポト独裁政権時代に急進的な共産主義政策により200万～300万人もの国民が殺され、国家は荒廃しました。その後1991年から和平実現のためUNTAC(国連カンボジア暫定統治機構)が設立され、その支援活動により新生「カンボジア王国」が誕生し、急速な復興を遂げています。このたびはカンボジア出身で徳島大学工学部大学院生のニョー・ヘンさんをお招きし、カンボジアの社会・文化・歴史・教育、カンボジア内戦・地雷などについてお話をいただきました。今回は川島高校から村岡先生始めたくさんの生徒の皆さんにご参加いただきました。内戦の話や地雷の話をつなぎ交ぜ、「戦争と平和」について考える機会を与えてくれました。模型の地雷を爆破させて実演をするという企画は、とてもインパクトがあり、地雷の恐ろしさを実感できました。



地雷の話をする
ニョー・ヘンさん



川島高校の
皆さんと

イベント情報

美郷の石積みのライトアップ

日時：8月5,6日(土・日)17:00～

まちかどコンサート

日時：8月26日(土) 鴨島駅前